

ゆずり葉

第99号

令和3年11月27日

■発行：青少年育成本太小地区会 ■発行者：永嶋 充浩

■事務局：浦和区本太 2-26-25
さいたま市立本太小学校内 TEL 882-3007

「こんなときだからこそ、行事をしてあげたい！」

「だけど…！！」



本部会や資料の作成には本太公民館をお借りしています。
ウイルスを持ち込まないよう、小学校への立ち入りは極力少なくするよう心がけています。

「試合が終わる度にボールを消毒すれば？」、「でも試合中は大勢が同じボールを触る」「検温どうする？」

「中学生ボランティアの安全確保は？」「マスクで運動は危険」「声援禁止？」「試合中は接触を防げない」

子どもたちがずっと我慢を強いられているこんな時だから、なんとか楽しい行事を開催してあげたい。そんな気持ちで話し合いを重ね、一つ一つの課題を検討した結論が「今は健康を守ることが何より大切」そして「ドッジボール大会中止」でした。

昨年、ほとんど活動できない状況が続いています。密を避けるため、常任委員会すら開催することができず、やむをえず本部役員の会議だけで方針を決定していることは誠に心苦しい限りです。

感染が収束した暁には、これまでの分も元気に活動していきたいと思えます。その際には、また皆様のご協力をお願いいたします。

コロナ禍に考える



青少年育成本太小地区会
会長 永嶋 充浩

皆様におかれましては未曾有の災禍の中、ご苦労はいかほどかと拝察いたします。

昨年、今年と感染防止の観点から、育成会では各行事の開催を始め、活動がままならない状況です。むろん当会に限ったことではなく、社会全般が同様です。

新型コロナウイルスの蔓延で、人々の生活様式は一変しました。行動も経済活動も制限を受け、ストレスで疲弊し、医療崩壊や経済的困窮が不安を増大させました。考え方の違いで社会の分断も起こっています。

しかし、このように心が荒みがちな世にこそ、人のつながりが、より大切だと言えるのではないのでしょうか。他者と深く関わることで信頼と心の拠り所が生まれ、善意は心の健康や、幸せを育てる助けとなります。

感染終息の見極めは困難で、以前の日常の回復にはまだ時間が掛かりそうです。それでも私たちは、人とのつながりを大切に、子どもたち、地域の為に、活動に取り組んでいきたいと考えます。

感染予防に気が抜けない日々はまだ続きますが、一日も早い終息と、地域の皆様が健康に過ごされることをお祈り申し上げます。

令和三年四月十六日より、さいたま市がコロナ感染症のまん延防止等重点措置の対象地域となったため、今年度の定期総会も書面にて議決を行うことといたしました。

五月初旬より、自治会・町会のご協力を得て総会議案と資料を回覧していただき、会員の皆様にご意見を募りました。

五月二十九日（土）に公民館講座室に皆様からのご意見を承る場を設けましたが、議案に対し、反対を含めご意見はなく、全ての議案が承認されました。

議案一、令和二年度事業報告

議案二、令和二年度決算報告

令和二年度監査報告

※監査報告の日付について、回覧資料では会長の報告日時が四月二十二日となっておりますが、三月三十一日の間違いでしたので、訂正させていただきます。

議案三、令和三年度事業計画

承認された計画案は下記枠内を参照。ただし、中止・変更の事業があります。初めて企画した行事（注1・注2）については三ページをご覧ください。

議案四、令和三年度予算案

下段を参照



令和三年度事業計画

・会員募集・集計

・定期総会（書面決議）

・合同常任委員会／常任委員会

・協力団体助成

・本太スクールサポートネットワーク、本太セーフティネットワーク参加

・おたのしみ映画会（注1）

・夏季青少年健全育成巡回活動

（本太小学校PTAのみ実施）

・浦和祭り巡回活動（浦和祭り中止）

・十二日まち巡回活動（実施可否未定）

・公民館文化祭協力（文化祭中止）

・子ども会対抗ドッジボール大会

・研修会（注2）

・新年懇親会

・家庭教育学級参加

・卒業生、新入生にお祝い品贈呈

・青少年育成巡回活動（毎月第三金曜日）

・広報「ゆずり葉」九十九号発行

・青少年育成さいたま市民会議参加・協力

・青少年育成浦和区民会議参加・協力

・関係団体事業に参加・協力

・

※赤字・青字は中止または不参加

赤字は育成会主催事業

青字は主催が育成会以外の事業

お詫びと訂正

回覧資料の数字に間違いがありました。ご迷惑をおかけしましたことをお詫びすると共に訂正いたします。

●収入の部

繰越金（誤） 107,717
（正） 107,714
合計（誤） 1,129,717
（正） 1,129,714

●支出の部

予備費（誤） 104,717
（正） 104,714
合計（誤） 1,129,717
（正） 1,129,714

令和3年度予算書

収入の部	単位	円
会費（学校申込分）		235,800
自治会助成金		554,900
さいたま市助成金		200,300
東部地区社協助成		20,000
本太公民館振興費		10,000
雑収入		1,000
繰越金		107,714
合計		1,129,714

支出の部	単位	円
運営費		335,000
助成行事費		
ぶんぶん文庫		30,000
地域団体		70,000
地域行事		300,000
活動費		290,000
予備費		104,714
合計		1,129,714

研修会

育成会では毎年、施設見学等、親睦を兼ねた研修旅行を行っていましたが、新型コロナのため昨年より実施が難しい状況が続いています。

そこで今年度は、他団体と共に下記の研修会を実施する予定です。

●ドキュメンタリー映画「記憶」上映会

日程：令和4年2月23日（水）※天皇誕生日

場所：浦和コミュニティセンター 多目的ホール

主催：「記憶」上映会さいたま浦和実行委員会

さいたま市浦和区ボランティアネットワーク

ぐーちよきばーていー

さいたま市社会福祉協議会 浦和区事務所

さいたま市危機管理課

さいたま浦和地区更生保護女性会

青少年育成本太小地区会

女子少年院の少女たちの境遇や、取り巻く社会問題を追った映画で、育成会にとっても有意義な内容になっています。当日は講師を招いてのトークショーも予定されています。

本太小地区会は、実行委員会の構成団体として会場の手配や当日の運営を手伝い、開催に協力します。

詳細は今後改めて連絡いたしますので、参加希望（ボランティア協力を含む）の方はお申し込みください。

子どもたちがふるさと「本太」で、地域の方々とともに体験したことは大人になってからの大きな財産となるものと思います。今後も、青少年育成本太小地区会の皆様や地域の皆様、そして保護者の皆様と学校が、心と心を繋いで、子どもたちの健全育成に努めて参ります。どうぞよろしくお願いたします。

子どもたちがふるさと「本太」で、地域の方々とともに体験したことは大人になってからの大きな財産となるものと思います。今後も、青少年育成本太小地区会の皆様や地域の皆様、そして保護者の皆様と学校が、心と心を繋いで、子どもたちの健全育成に努めて参ります。どうぞよろしくお願いたします。

おたのしみ映画会

コロナ禍で学校行事が大きく削減され、日常生活でも我慢を強いられている子どもたちに、ささやかな楽しみを提供できればと企画しました。

6月19日に実施する予定で参加希望を募り、浦和交通安全協会にもご協力いただいて、準備を進めてきましたが、まん延防止等重点措置の延長が発表され、開催を延期しました。

実施時期につきましては、2学期を想定していましたが、8月に緊急事態宣言が発出され、準備が整わなかったことから、現在のところまだ日程が決まっておりません。今後の感染者の推移を見守りつつ、十分な感染対策を講じた上で、可能であれば、3学期に開催を検討しています。



1学期に掲示したポスター

②ペット2

●上映プログラム

①道路にはどんな危険があるの？

(交通安全協会監修)



本太小学校
校長

藤澤美智子

子どもたちへの深い愛

キンモクセイの甘い香りに爽やかな気持ちになると同時に、本太小での二度目の秋が巡ってきたことにしみじみ思いを馳せました。

着任から一年半。新型コロナウイルスの収束は未だ先が見えない状況にあります。学校行事と同様、これまで青少年育成本太小地区会の皆様方が開催してくださっていた様々な行事も中止や延期にせざるを得ない状況が続いております。しかし、そのような中でも本太小地区会の皆様におかれましては、安心安全を確保しながら何とか子どもたちが喜ぶ行事を実施できないかと、試行錯誤を重ねながら計画の実施に向けて尽力してくださっています。どのような状況においても、常に子どもたちに深い愛を注いでいただいている姿、計画が延期になり振り出しになっても、笑顔で「また頑張りましょう」と声を掛けてくださる姿に、元気をいただき、感謝の思いが溢れてきます。

◆ 功労者表彰

令和二年度青少年育成推進大会において

吉田 信昭さん（十年功労）

加藤 好江さん（五年功労）

町田 裕子さん（五年功労）

が表彰されました。

なお、令和三年二月二十七日に予定されていた表彰式は、感染拡大防止のため中止になりました。

◆ 夏季青少年健全育成巡回活動

例年は育成会全委員・子ども会・小学校・中学校PTAが協力して行う夏の巡回活動ですが、八月一日に緊急事態宣言が発出されたため、七月中に実施した小学校の安全委員会を除き、残念ながら活動を中止としました。

コロナ禍で、今年は巡回の回数が大きく減少しました。外出自粛傾向が続くと、子どもを見守る目も少なくなり、犬の散歩や買い物などの外出時には周囲に目を向け、「地域の目」の空白を小さくしていくよう、ご協力お願いします。



補導委員会の定例巡回は、緊急事態宣言明けの10月から再開しました。巡回中は、切れている街灯や公衆トイレの中なども注意して確認しています。

◆ 地域の団体へ助成しました

五月二十九日

(土)、総会議案質

疑応答のために待機していた時間を利用し、地域の団体に助成金をお渡ししました。

併せて、各団体より活動報告を伺いました。コロナ禍では難しい恒例行事もあり、中止を余儀なくされることも多いようです。それでも役員の皆さんや保護者の方は、感染対策をしながら新しい行事を企画するなど工夫をされており、その熱意と努力は育成会にも大いに参考になりました。



● 対象団体

- ・ ぶんぶん文庫
- ・ 本太ビクターズ少年団
- ・ 本太サッカー少年団
- ・ 本太ソフトバレーボールクラブ
- ・ 本太スパークルミニバスケットボールスポーツ少年団
- ・ 本太フレンズバドミントンスポーツ少年団
- ・ 日本ボーイスカウトさいたま第202団
- ・ ガールスカウト日本連盟埼玉県第5団



計 報

令和三年九月二十四日に、浦和区東部地区社会福祉協議会の柿塚一三会長が、逝去されました。

柿塚さんは育成会でも役員として長年に亘り活躍されました。平成二十八年には相談役に就任し、折々に指導いただきました。

地域の福祉に尽力された功績に感謝すると共に、ご冥福をお祈りいたします。



育成会相談役としてご協力いただきました。

編集後記

感染者数が落ち着いてきて、子どもたちをコロナから守るために、学校の奮闘は続いています。ワクチンが普及した大人と違い、まだ接種が認められていない小学生はウイルスに対して無防備です。緊張感を持って感染対策に当たる先生方には頭が下がります。

育成会も、子どもたちのために何かできることはないか模索する日々ですが、なにより安全を第一に、活動内容を考えてまいります。